



PHILIPS

マスターカラーCDM (CDM-T・CDM-TD・CDM-TC) 取扱説明書

フィリップス マスターカラーCDM (CDM-T・CDM-TD・CDM-TC) ランプをお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。ご使用に際し以下の注意事項をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。

施工業者様へ：この取扱説明書は工事終了後、必ず照明設備の維持管理をされる方にお渡しください。

安全上の注意

⚠ 警告

- ⊘ ランプの外管(ガラス球)および内管(ガラス管)が割れたままでは絶対に点灯しないでください。紫外線による目や皮膚の障害及び破損落下の原因となります。
- ⊘ 紙や布でおおったり、燃えやすいものに近づけないでください。火災の原因となります。
- ⊘ 取り付け、取り外しや器具清掃の時は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- ⊘ プロテクタを付けた器具を使用してください。破損した場合、ケガの原因となります。
- ⊘ 点灯方向に指定のあるランプは必ず指定方向で使用してください。破損した場合、ケガの原因となります。(CDM-TDランプ)

⚠ 注意

ランプの取り扱い

- ソケットに確実に取付けてください。ランプの落下や接触不良による過熱、発煙の原因となることがあります。
- 落としたり、物をぶつけたり、無理な力を加えたり、キズをつけたりしないで下さい。
特に器具清掃のときはご注意ください。破損の原因となることがあります。
- 点灯中や消灯直後は、熱いので絶対に手や肌などをふれないでください。ヤケドの原因となることがあります。
- ランプに塗料などを塗らないでください。ランプが過熱し、破損の原因となることがあります。

安定器・照明器具

- 適合した器具および安定器で指定されたワット数のランプを必ず使用してください。過熱や発煙の原因となることがあります。
- 雨や水滴のかかる状態や、湿度の高いところで使用しないでください。破損の原因となることがあります。
- 引火する危険性の雰囲気(ガソリン、可燃性スプレー、シンナー、ラッカー、粉塵など)で使用しないでください。火災や爆発の原因となることがあります。
- 振動や衝撃のあるところではランプを使用しないでください。落下の原因となることがあります。
- 酸などの腐食性雰囲気のあるところでは一般器具によるランプの使用はしないでください。漏電及び落下などの原因となることがあります。
- 粉塵の多いところでは一般器具によるランプの使用はしないでください。器具の過熱の原因となることがあります。

ランプの点灯

- 点滅を繰り返すなど正常に点灯しない場合は直ちに電源を切ってランプを交換してください。過熱や発煙の原因となることがあります。
- ランプから近距離のところでは長時間作業をしたりランプを直視しないでください。目や皮膚の障害の原因となることがあります。
- 退色を極度にさけたい場合には、使用しないでください。
- 定格寿命もしくは、それ以前にランプ交換をおすすめします。ランプがまれに破損の原因となることがあります。
- 連続点灯で使用する場合は、ランプ異常を確認するため、一週間に一度は消灯してください。ランプ異常によりまれに安定器が焼損することがあります。

その他

- 使用済のランプは割らずに破壊してください。ランプを割るとガラス破片が飛散し、ケガの原因となることがあります。

ご使用上の注意

ランプ

- 適合した照明器具・マスターカラー・CDM用安定器と組み合わせてご使用ください。他の照明器具・安定器との組み合わせではご使用になれません。
- 電源スイッチを入れたあと、明るくなるまでに約4分かかります。
- 消灯直後に電源スイッチを入れてもすぐに再点灯しません。一旦電源スイッチを切り約10～15分後に再び電源スイッチを入れてください。(照明器具の構造や設置場所などによってランプの冷却する時間が異なりますので必要時間も変化いたします。)
- 非常に高い照度でのご使用や光に敏感な材質のものを照射する場合には紫外線フィルターの使用をおすすめします。
- 調光して使用しないでください。

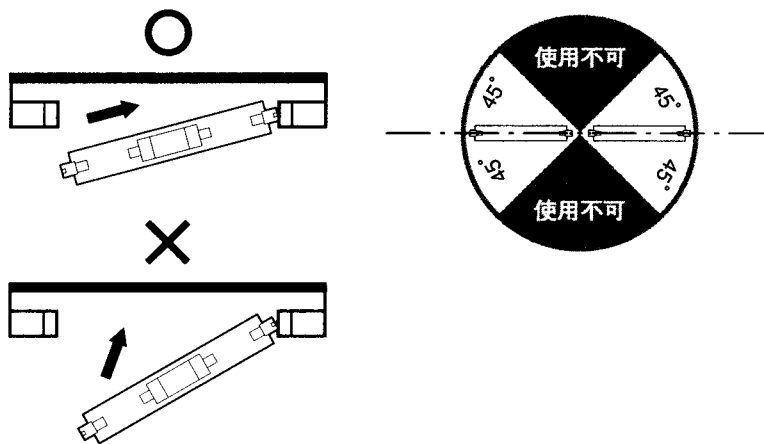
安定器

- 電源電圧は使用する安定器の定格電圧の±6%以内でご使用ください。
- 急激な電圧降下がある場合にはランプが消灯することがあります。
- 安定器からランプまでの管灯回路長は、マスターカラー・CDM用安定器に指定された長さ以下で使用してください。
- ランプが点灯していない場合でも、電源スイッチを入れてからしばらく(約20～30分)の間安定器の2次側に高圧パルスが発生しています。点検の際は必ず電源を切ってから行ってください。
- パルス停止機能付き安定器をご使用の際、パルス停止機能が作動した状態でランプを交換しても点灯いたしません。一旦電源スイッチを切りしばらくたってから再び電源スイッチを入れてください。電源を切ることによりパルス停止機能がリセットされます。

CDM-TDランプ取付けに関するご注意

ランプ取付け時は、水平の位置からソケット部に挿入してください。この時無理な力を加えないでください。ランプに無理な力を加えると破損することがあります。(下図参照)

このランプは、水平±45°以内の点灯方向でご使用ください。(下図参照)



ランプの誤った使用方法や適合しない照明器具および点灯装置でのご使用に伴う一切の事故、故障の責任は負いかねます。ご不明な点は弊社または弊社代理店までおたずね下さい。